

札幌東商業版「北海道プロデュース構想」

ー ネットワークを生かした地域活性化へのアプローチ ー

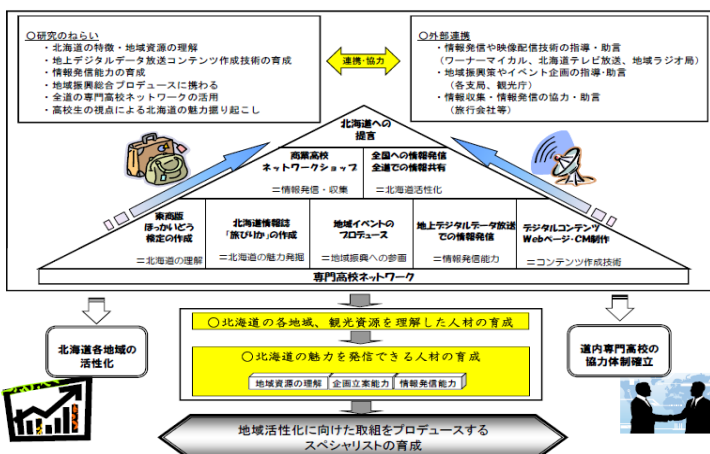


北海道札幌東商業高等学校

◆ 研究の概要

北海道は広大であり、商業科を設置する高校は40校を超えている。そのような北海道において本校は、北海道商業教育の中心校としての役割を担っている。

そのため、全道の商業科設置校とネットワークを構築し、全道各校で行われている取組を融合させる窓口を本校が務め、各校による「点」としての取組を「線」や「面」へと結び付け、北海道全体の活性化につなげる取組になるよう、生徒自身がプロデュースする力を育成することを目指して、取り組んだ。



- (1) 地域産業やイベント振興を生徒自らがプロデュースし、地域への意識を高め、企画力、実践力、対話能力などを身につけた人材を育てる。
- (2) 各種メディア関連企業と連携して、デザイン能力の育成、情報発信能力の育成を図り、メディアを利用して様々な情報発信を行う。
- (3) 全道の専門高校と連携し、各地域の良さや特色ある地域振興の情報を入手し、それらを全道、全国へと発信する。

◆ 研究事項

- <1年次>【北海道を知る：Discover】キーワード：地域理解，情報収集
- 東商版ほっかいどう検定の作成
 - 北海道テレビ放送株式会社との連携 ～ 地上デジタルデータ放送のコンテンツ ～
 - 北海道情報誌「旅ぴりか」の作成
 - 北海道情報大学との高大連携 ～ 北海道イメージキャラクターの作成 ～
 - 地域資源に関する調査 ～ 北海道の魅力発掘 ～
 - 地域紹介CMの作成
 - 地域振興への参画 ～ 新さっぽろ冬まつりプロデュース ～
 - さっぽろ雪まつり観光コンシェルジュ
- <2年次>【北海道を試す：Challenge】キーワード：積極的参画，試行錯誤
- 商業高校ネットワークショップの店舗運営
 - 専門高校生のアイディア満載！！オリジナル駅弁コンクールの開催
 - 北海道観光情報データベースの構築
(Hokkaido Sightseeing Information Database: HSID)
- <3年次>【北海道を変える：Innovation】キーワード：提言
- 函館商業高校生との「Web会議」
 - 専門高校生同士による「北海道経済について本音で語る会」
(小樽商業高校・函館商業高校・旭川商業高校・釧路商業高校
帯広南商業高校・苫小牧総合経済高校・北見商業高校・札幌東商業高校)

◆北海道情報誌「旅ぴりか」の作成

○ 内容

リクルート北海道じゃらん編集長を講師に招いて、情報を発信するツールとしての情報誌の編集方法を学んだ。3年生の科目「総合実践」で、生徒一人一人がクリエイターとして、北海道の魅力発掘と商業高校生の取組を題材として、編集及び作成を行った。

○ 成果

当初は、修学旅行で北海道を訪れる高校生をターゲットに作成したが、その後、北海道観光を目的とする外国人観光客にも対象を広めて、日本語版と英語・中国語表記のダイジェスト版を編集し、作成することとなった。プロの視点を取り入れることによって、生徒の刺激へと繋がり、情報誌作成の編集の在り方を学ぶことができた。



◆北海道テレビ放送株式会社との連携

○ 内容

2年生の科目「ビジネス情報」「コンピュータグラフィック」で、地上デジタルデータ放送のコンテンツ作成を行なった。北海道テレビ放送（HTB）の「ネットON」というコーナーで、学校紹介や高校生からのオススメの店やスポットなどが配信されている。

○ 成果

生徒は、情報発信において著作権や文書表現に細心の注意を払うことの必要性和重要性を感じるようになった。また、企業の担当者と直接対応する中で、コミュニケーション能力が身についたと同時に文章表現能力を身につけることができた。



◆オリジナル駅弁コンクールの開催

○ 内容

道内の専門高校生に、地元北海道の食材を活用し、高校生の視点で北海道の魅力や地域資源を掘り起こす「食に関する企画」として、株式会社札幌駅立売商会の協力のもと実施した。

○ 成果

本企画は平成22年度（第1回）と平成23年度（第2回）に実施し、合わせて4作品が実際に商品化され、期間限定で各1,000食がJR札幌駅構内の弁当専門店「弁菜亭」で販売された。専門高校生が北海道の食材を活用したお弁当を考案することにより、地域食材について学びあう機会を提供し、食育の普及や地産地消費意識の高揚を図ることができた。

